

鍋倉山・斑尾山

2013年2月16日(土)～17日(日)

リーダー：池田T、赤碕、岩倉、ふじ

長野県北部の山、鍋倉山と斑尾山で山スキーを楽しんだ。
鍋倉山はブナの林が素晴らしかった。
斑尾山でも山頂から東に延びる尾根でツリーランを楽しんだ。
いずれの山でも快適な滑走を楽しむことが出来た。

2/16(土) 曇り

飯山市内から関田峠に向う県道95号線は温井集落まで除雪されている。終点から少し戻った道路脇に車を停めた。
「山スキーの人へ。建物の前には駐車しないで」とシャッターの前に注意書きがあったので、そこそこ入山者がいるのだろう。
ほぼ同時に到着したスノーボードの4人組が先に入山していった。



①登り始め。雪は深いが先行者のトレースがあるので楽。



②無人小屋。この先で4人組を追い越す。

やがてテレマーカーの単独男性に追いつく。今日、最も早い入山者のようだ。ラッセルの交代を申し出る。
長野市内に住んでいて、ここに来るのは今シーズン5回目だとか。不案内な我々をガイドして頂いた。
積雪は固い層の上に30～40cmの新雪が乗っている状態。谷筋に入るのは危険な感じ。



③尾根に乗ると雪が締まっていて進むのが楽になる。



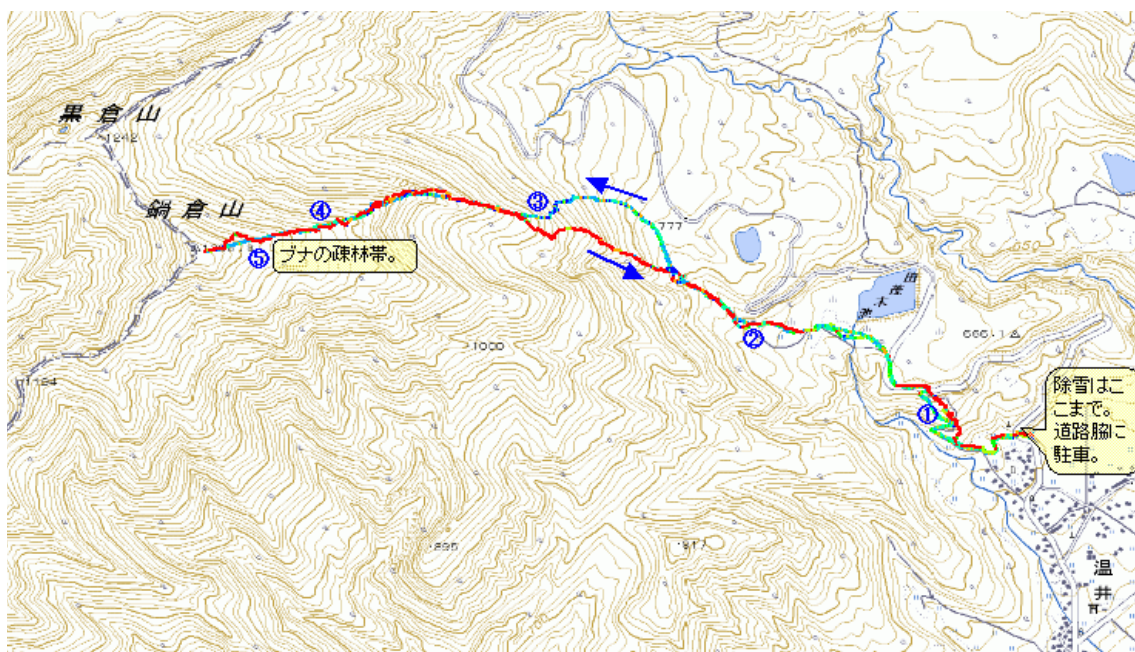
④樹氷をまとったブナの木々。

標高1150mあたりから傾斜が緩くなってブナの疎林帯が広がる。樹氷が何とも良い雰囲気である。
山頂は平坦で標識らしきものは全く見当たらない。おそらく雪の下に埋もれているのだろう。
天気が良くないので残念ながら展望は全く無し。風が強いので早々に滑走の準備をする。



⑤ブナ林の快適なツリーラン。滑走するのは赤崎。
クリックするとYou Tubeで動画が見れます。

滑降は無難に登りと同じ尾根沿いに行く。登りのトレースは風雪でほとんど消えていた。
雪質は概ね滑り易い状態であった。下半分の雪が深い所ではちょっとパウダーを楽しめた。



<タイム>

温井集落8:15－鍋倉山11:45－温井集落13:15

2/17(日) 晴れ

宿を出てすぐ近くの斑尾高原スキー場に移動。しばらくはゲレンデで足慣らしをする。
このスキー場は未圧雪エリアが多い上に林の中も滑ることが出来るので非常に実践的な練習になる。
しばらく練習してからゲレンデを出て山頂に向う。約20分のシール登高であった。



上部のゲレンデから野尻湖を見下ろす。



斑尾山の山頂にて。

山頂は樹林に囲まれているので展望は無い。休憩しているとスノーシューツアーの一行が南西側から登ってきた。少し降ると展望が開ける場所があるらしい。やがてスノボのグループがゲレンデ方面から登ってきた。

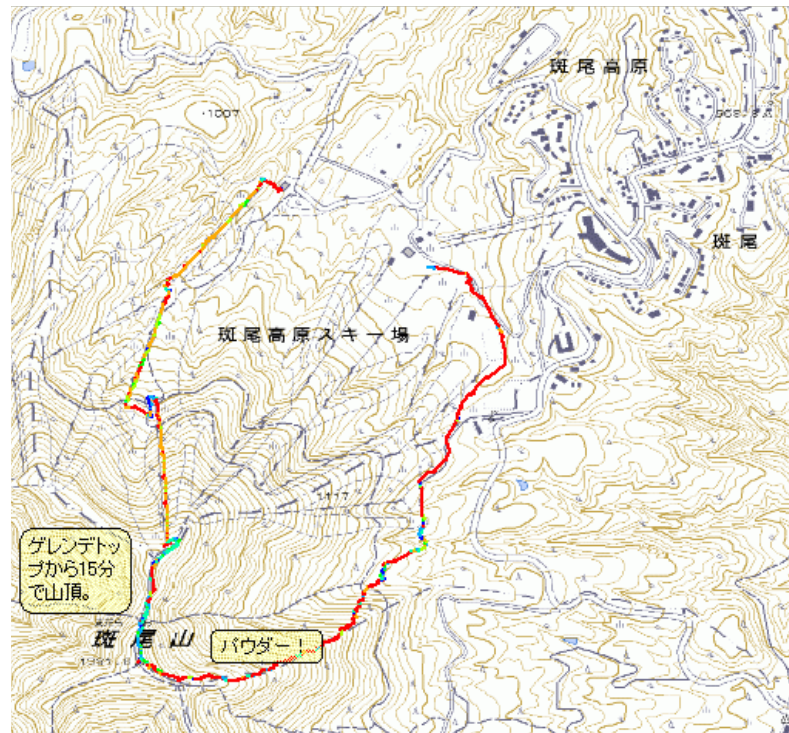


山頂にあった古い標識。



斑尾山の東尾根にて。
クリックするとYou Tubeで動画が見れます

山頂から東の尾根は樹林が濃いように見えたが、すこし降りると木々の間隔が広がって滑りやすくなった。雪質も悪くない。尾根の末端まで降りてしまうと道路を歩いてスキー場に戻るハメになるので適当な所で北側に降りて谷を一本横切り、ゲレンデに戻った。



<タイム> ゲレンデトップ10:30－斑尾山山頂10:50～11:20－ゲレンデ12:10

以上